

様式第2号(第7条関係)

会議の開催結果

1 会議の名称	さいたま市総合振興計画審議会第3部会(第1回)
2 会議の開催日時	平成25年4月30日(火) 14時00分から16時00分まで
3 会議の開催場所	ときわ会館5階 501会議室
4 出席者名	審議会委員：新井淑子委員、伊藤巖委員、木村通恵委員、佐藤美和委員、田中洋司委員、長野基委員、中村仁委員、早坂源司委員、矢ヶ崎紀子委員、山田長吉委員 事務局：江口明男、松井雅之、小島豪彦、松尾真介、富田昌洋、猪狩文康、南友和、鈴木慶一
5 議題及び公開又は非公開の別	議題 ・部会の進め方等について ・安全・生活基盤の分野におけるこれまでの取組と課題等について ・交流・コミュニティの分野におけるこれまでの取組と課題等について ・その他 公開又は非公開の別 公開
6 非公開の理由	—
7 傍聴者の数	0人
8 審議した内容	別紙、議事概要のとおり
9 問合せ先	政策局政策企画部企画調整課 電話番号 048-829-1035
10 その他	

さいたま市総合振興計画審議会第3部会（第1回）議事概要

部会委員の紹介の後、部会長の選出が行われました。

○部会長 矢ヶ崎 紀子 株式会社日本総合研究所上席主任研究員

次に、矢ヶ崎部会長から副部会長の指名が行われました。

○副部会長 中村 仁 芝浦工業大学システム理工学部教授

議題（1）部会の進め方等について

次について、資料1に基づき事務局から説明した後、審議が行われ、事務局案のとおり承認されました。

○部会が担当する分野

○部会の審議スケジュール

次に、安全・生活基盤の分野におけるこれまでの取組と課題等、交流・コミュニティの分野におけるこれまでの取組と課題等について事務局から説明があり、意見交換を行いました。

議題（2）安全・生活基盤の分野におけるこれまでの取組と課題等について

議題（3）交流・コミュニティの分野におけるこれまでの取組と課題等について

次について、資料2-1及び資料2-2に基づきに基づき、事務局から説明した後、資料及び説明内容の確認並びに意見交換を行いました。

○基本構想における記述

○現行基本計画に基づく主な取組

○安全・生活基盤分野の主な課題

○施策展開（案）

【主な意見】

- ・資料は次期基本計画の事務局案なのか、あるいは今までの検討のまとめなのか、確認しておきたい。
- ・資料のデータに、ボランティア団体やNPO団体だけでなく、自治会のことも記載すべきである。
- ・「主な課題」にある「～が必要」と考えた主語は誰か。誰が判断したことなのかが分かる資料としてほしい。本部会では、市の政策や方針に関わる部分の判断まですべきなのかが分からない。
- ・地域のコミュニケーションづくりは早速にでもとりかかってほしい。防災面に男女共同参画の視点を取り入れることが望ましい。支え合うことが大切である。
- ・本部会が担当する「安全・生活基盤」「交流・コミュニティ」の2つの分野を融合して考える視点はとても重要であり、そういう視点で議論させていただきたい。
- ・部会のあり方としては、行政の案に注文を付けるのではなく、具体案としてアイ

デアを出すことが大事だと考える。

- 安全分野については漏れのないように、本市のハザード（危険をもたらしているもの）を洗い出し、その後、エクスポージャー（危険に晒される程度）と脆弱性を整理すると良い。
- 本市における出火の原因としては、実は放火が最も多い。火災ではあるが一方で犯罪でもあるので消防の中でも特殊であり、漏れてしまわないよう注意が必要。
- 交通安全では自転車による交通事故が増加しているので、取り上げていく必要がある。
- 災害時の帰宅困難者対策のために、家族構成等に応じた市民の日頃の行動分析をした上で、対策を検討してはいかかがか。
- 家庭や地域、企業、行政における性別役割分担意識はいまだ根強いため、市役所が率先して行動し、地域にPRしてほしい。
- 防犯についてだが、夜、家の灯りが点いていて、人がいるとわかると防犯になると考えている。
- 地域防災活動だが、ガス・電気が使えない状況でも対応できるように、例えば、薪でご飯を炊くなどの経験を、機会を捉えて積んでおいた方が良い。
- 国や県だけでなく、大学や地域の事業者等と連携して防災対策に取り組んではいかかがか。
- 小中学校に普及が進むマンホールトイレの中には、落下などの危険があるものがあるので、安全なものを設置してもらいたい。
- 防災ボランティアコーディネーターや防災アドバイザーを養成するだけでなく、どう活用するかが課題である。
- まず、この10年の成果を踏まえて考え、それから、この10年で大きく変わってきたこともあるので、さらに必要なことは何か、大きな視点で話し合っていく必要がある。事務局の案を見ながら、もう少しここが必要であるとか、そういった形で議論を進めていけばよいのではないか。
- 外国人の生活者の安全確保と、生活を支えるという視点を盛り込んだ方が良い。また、多様な交流を広げるとあるが、さいたま市の文化的な資産・財産が明確に見えていれば、他国との交流もできる。
- 約10年前の計画策定時から変化したことを把握し、今後の計画に活かしていくことが大切。東日本大震災の発生や高齢化の進行に加え、法律の改正なども考慮し、取り組まなければならないことについて確認する必要がある。
- 今後の施策を展開していくうえでの共通原則を話し合っていく必要がある。
- 自分の身近にある問題から解決していくことが大事である。震災の記事があったが、関わりのある新聞記事などが出た時には、この部会でも取り上げてもらいたい。地質の問題は、県や市だけでの対応は難しいので、県内の大学に協力してもらえるといいのではないか。高齢者の経験なども活かしてもらえればいい。
- 災害時要援護者に関する記述が抜け落ちているので、これについても考えていきたい。

- ・他の部会で取り扱う分野について、本部会で取り扱う分野に関わることもあるので、情報提供してほしい。

議題（４）その他

事務局から、部会の第２回開催日程について連絡しました。

○５月１４日（火）午後２時から